

優良賞

少しずつ

鹿沼市立西中学校一年

加藤佳苗

「このままではダメだ。」

こわされていく自然に対して人々が強く感じた言葉です。人が暮らしていくために、多くの森林が切りたおされたり、不法投棄によって自然が汚れていたりしています。動物たちのすみかも、だんだん減って食べ物を求めて里山においてきてしまつことが少しずつ多くなっています。身近に感じられるようになってきた環境破壊を止めるために、今はどんな活動が行われているのでしょうか。

そんなことを考えていると、ある新聞の記事が目に入ってきました。

その活動は「トトコの森を守る」というものでした。トトコの森を守る活動は東京都と埼玉県の狭山丘陵で行われ始めたそうです。そして映画「となりのトトコ」で描かれたこともあり、トトコの森と命名し、活動を始め、今もその森を守っているということでした。

トトコの森を守る活動をはじめたのは、当時、埼玉県野鳥の会役員だった荻野さんです。森林が荒らされ、汚れていく様子にたえ切れず、仲間を集め、寄付金で狭山丘陵の土地を買い取って森林を保護することを決意します。

森林を守るために、どんな作業をしているのか、調べてみることにしました。まず、森林を守るため、下草がりをしたり、森林を活していたごみをひろったりしているそうです。正直、これらの作業は大変で多くの労力が必要になります。そんな作業も人々は協力して行い、今でもトトコの森は美しい状態を保っています。このようなことから、人々の自然を愛する優しさや、意志の強さを感じることができました。このトトコの森を守る活動以外に

も、何もなかった土地に木を植える活動が行われています。私も森林や自然を守るための運動に一つでも多く参加して、森林を守ることに協力していきたいと思っています。

そしてもう一つ、自分の身近なところで森林愛護に協力することができるといふことに気がつきました。それは募金をすることです。

近くのスーパーのレジなどで、森林を守るための活動を目的とした募金の箱が置いてあったことがあります。そのことを思い出して私は、森林を守るということを考えてしまうことがあるけれど、まずは、このように身近なところから小さなことでも自然を守るために協力できることが多くあるんだと感じました。

さらに、私が森林を守るということで大切だと思うことがあります。それは、森や美しい自然に触れることだと思います。それにより、少しずつ、森林や自然の優しさ、大切さに気づくことができ、これらのものを守りたいという意識がだんだん芽生えてくると思います。その小さな一つ一つの芽が、活動に参加したり、募金で協力したりと、森林愛護のための大きな前進につながると思います。まだまだ時間のかかることです。けれど、それが森林愛護の大切さを伝えていく、よい手段だと思っています。

そして、私の住む鹿沼市の森林自慢は、水をたくわえるためのダムは、全て森林の力を利用して、森林ダム、つまり天然のダムを使っていることです。森林を大切にすると、私たち人間の役にも立ってくれるんだなと実感しました。このような、天然のダム、そして森林によって支えられている私たちの生活を知ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。

最後に、みんなでこのような活動を日本中、世界中に少しずつ伝えていけば、緑があふれる、あたたかい地球になると思います。私は私にできることを一つ一つ、そして少しずつ行って森林愛護に協力していきたいです。そして美しい緑であふれる地球になることを願っています。